

# 今年度の当院の取り組みについて

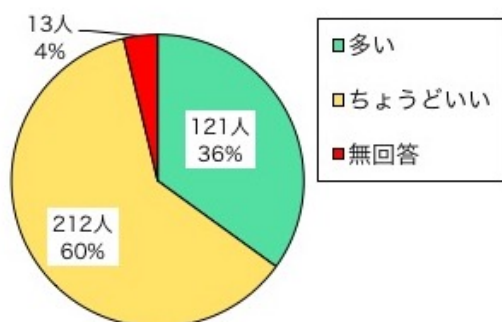
～アンケートからわかったこと～

事務 竹澤優子

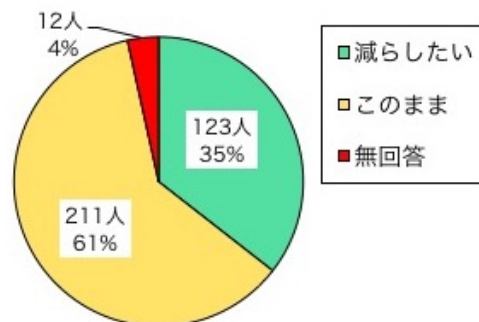
毎年当院では、医院として何ができるか、職員全体で目標を決めて取り組んでいます。今年度は、多剤投与が問題視される中で患者さんのお薬に目をむけ、薬を減らす取り組みを行っています。すぐに薬を減らすのは非常に難しいですが、患者さんの現状を把握し、多剤投与の問題点を説明し、必要な方には家族の方にも協力していただきながら進めているところです。

この活動を始める前に、定期薬を5剤以上服用している345名の患者さんを対象に、現在のご自身の薬についてどう思っているか調査を行いました。

Q:現在服用しているお薬の数は多いと思いますか。

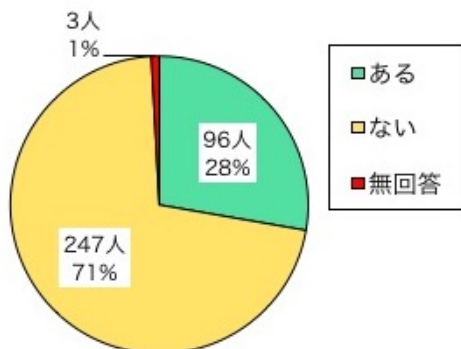


Q:現在服用しているお薬の数を減らしたいと思いますか。

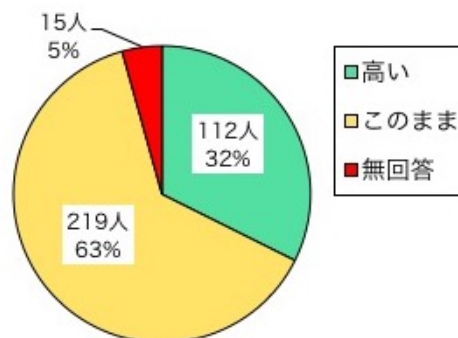


「現在服用しているお薬の数は多いと思いますか」という質問に対して、345名中121名の方が「多い」、212名の方が「ちょうどいい」という回答でした。「薬の数を減らしたいと思いますか」という質問に対して、123名の方が「減らしたい」、211名の方が「このまま」という回答であり、両方の質問とも全体の約60%の方が現状のままを希望していました。「薬が多く、減らしたい」という方が思っていたよりも少なかったことが意外でした。「現状のまま」を希望している方にも、薬を減らしていくための生活習慣病の指導や、不要な薬のチェックなど、取り組みを理解していただける説明が必要だと感じました。

Q:他の医療機関から処方されているお薬はありますか。



Q:現在のお薬代についてどう思いますか。



「他の医療機関から処方されているお薬はありますか」という質問では、「ある」と答えた方が96名、「ない」と答えた方が247名でした。他の医療機関から当院の薬と同じ効果のあるお薬を処方されていたということも少なくありません。重複投与は副作用も心配です。処方されているすべての薬の把握が大切だと改めて感じました。

「現在のお薬代についてどう思いますか」という質問では、112名の方が「高い」、219名の方が「このままで問題ない」という回答でした。薬が高いと思っている方の方が少ないのが意外でした。問題がないと回答した患者さんでも、実際に薬が減り、「薬代が安くなって良かった」という声もありますので、内服薬の内容を見て減らせそうな患者さんには相談しながら勧めていきたいと思えます。

## 毎日飲むお薬だからこそ、飲みやすく

事務 大場利恵

患者さんの治療に欠かせないお薬ですが、毎日、きちんと飲めていますか？。「家に〇〇の薬だけが残っている」、「夜飲む薬だけが足りなくなる」などありませんか？。薬の飲み忘れや、外出先で無くしたりなど、毎日きちんと飲んでいるつもりでも、薬の数が合わなくなることはあると思えます。私たちは、患者さんの薬が無駄にならないように、少しでもお役に立ちたいと思いこんな工夫をしています。

- ①家に残っている薬を持ってきていただいて薬の数を合わせる。
- ②薬の飲み忘れを防止するために、朝用・昼用・夕用に薬を分包する。
- ③患者さんの希望に応じて、分包した袋に日にちを書く。
- ④ご家族のご協力をいただいて、カレンダーに薬を貼り毎日飲むように勧める。



毎日飲むお薬だからこそ、飲みやすくできるようにご提案していきたいと思っておりますので、遠慮なく声をかけてください。他の医療機関にも通院している患者さんからは、受付の時に、診察券と保険証の他に、お薬手帳もお借りしています。これは、どんな薬が処方されているかを確認するためです。薬の重複を防ぐためにも、お薬手帳の提示にご協力をお願いいたします。

